

道路(一時)占用の手引

工事用施設(一時占用)編

道路構造物隣接工事編

令和3年12月

みよし市都市建設部道路河川課

目 次

1. 申請通則	2
2. 許可基準のあらまし	
(1) 仮囲・足場	2
(2) 保護棚	3
(3) 乗入れ	3
(4) その他	4
3. 添付図書一覧表	5
4. 申請図書作成要領	
(1) 申請書	
① 新規申請	6
② 更新・変更申請	8
(2) 添付図書	
① 工事仕様書	10
② 付近見取図	11
③ 全体平面図	12
④ 立面図・側面図	14
⑤ 構造図	17
⑥ 求積図	20
⑦ 掘削図-1,2	21
5. 許可後の手続	23
① 道路占用（一時）許可標識	24
② 工事着手届	25
③ 工事完了届	26

1. 申請通則

(1) 申請者

申請者は、施工業者としてください。

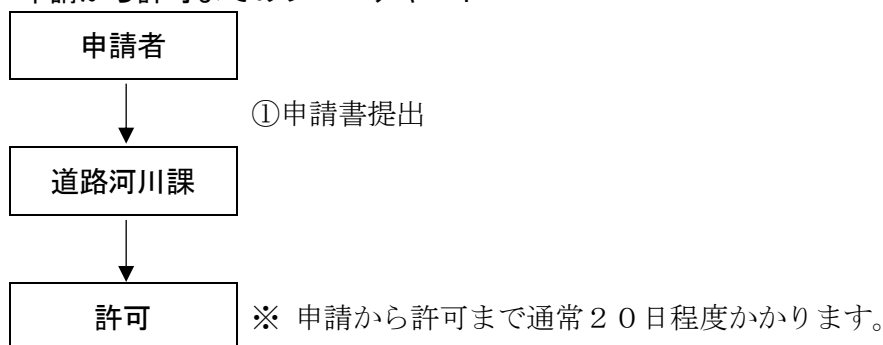
(2) 提出書類

道路一時占用許可申請書 2部

添付図書 2部 (5ページ参照)

(3) 提出先 みよし市役所都市建設部道路河川課

(4) 申請から許可までのフローチャート



(5) 道路占用料

占用面積1平方メートルにつき、1か月あたり

仮囲・足場	230 円
保護棚	230 円
乗入れ	230 円

※ 占用料は、「みよし市道路占用料条例」の改正により変更することがあります。

※ 平成31年4月1日 適用

2. 許可基準のあらまし

(1) 仮囲・足場

道路上に、足場を設置する場合は、仮囲が必要です。

①出幅は、道路境界から2メートル以内で、必要最小限とする。

ただし、歩行者又は車両の通行のため、次の有効幅員を確保すること。

- ・歩道に設置する場合 1.5メートル以上(特段の事情によりやむを得ない場合は、0.75メートル以上)
- ・車道に設置する場合 3.5メートル以上(特段の事情によりやむを得ない場合は、3メートル以上)

②仮囲の高さは、道路面から3メートル以上とする。

ただし、次の場合には1.8メートル以上の仮囲を用いることができる。

- ・2階建以下の建物の建築工事(新・増・改築・解体)
- ・3階建以下の建物の補修工事
- ・建物の壁面塗装など(2階建以下の場合はつい立てフェンスを用いることができる。この場合は、夜間照明施設(スズラン灯)を設けること。)
- ・外構・擁壁工事など(工事施工上やむを得ない場合は、つい立てフェンスを用いることができる。この場合は、夜間照明施設(スズラン灯)を設けること。)

(仮囲高さ一覧)

建物階数 工事内容	2 階以下	3 階	4 階以上
建 築 工 事	1.8m以上	3 m 以上	
補 修 工 事	1.8m以上		3 m 以上
壁面塗装など	—		1.8m以上

③ 仮囲などの支柱は、道路に埋め込まない。

(2) 保 護 棚

工事を行う部分が道路面から 10 メートル以上の高さになる場合は、保護棚の設置が必要です。

- ① 出幅は、足場から 2 メートル以上とする。
- ② 保護棚（1 段目）を足場に取り付ける位置は、道路面から、歩道の場合は 3 メートル以上、車道の場合は 5 メートル以上とする。
ただし、いずれの場合も道路面から 10 メートル以内とする。
- ③ 保護棚の設置段数は、工事を行う部分の高さが道路面から 10 メートル以上の場合は 1 段以上、20 メートル以上の場合は 2 段以上とする。
※ 足場が道路に出ず、工事敷地内に納まる場合であっても、その設置位置が道路境界から 2 メートル未満のときは、基準どおり保護棚を設置すること。
※ 壁面の塗装などで、落下物が予想されない場合については、保護棚の設置を省略することができる。また、壁面の塗装で、落下物が塗料のみと予想される場合については、保護棚の足場からの出幅を 2 メートル未満とすることができる。この場合、保護棚の設置段数は工事を行う部分の高さに関わらず 1 段以上とすることができる。
- ④ 足場の前面だけでなく、側面にも設置する。
なお、足場の側面に保護棚を設置できない場合は、これに代わる落下物防止措置を行うこと。
※ 保護棚が隣地前面の道路上空に及ぶ場合は、隣地所有者の承諾書の写しを提出すること。
※ 足場の側面に保護棚を設置できない場合は、工事仕様書備考欄に、その理由を記載すること。

(3) 乗 入 れ

工事用の車両を工事敷地内へ乗入れる場合は、歩道などの補強又は防護措置が必要です。

- ① 道路の交差部、曲がり角などをできる限り避け、交通の支障とならない所に設置する。
- ② 乗入れ幅は、原則として 6 メートル以内で、必要最小限とする。
※ 使用車両などの都合で、やむを得ず 6 メートルを超える場合は、車両回転軌跡図を提出すること。
- ③ 歩道については、コンクリート舗装(厚さ 20～25 センチメートル)とすること。
ただし、占用期間が 6 か月以内の場合については、鉄板敷(厚さ 15～25 ミリメートル)とすることができる。
※ 歩道がカラー舗装、インターロッキング舗装等の場合は、道路河川課の指示する防護措置をすること。
- ④ 側溝補強（防護）については、原則として鉄板敷とする。

⑤ 鉄板は、がたつきのないよう敷地内においてボルトなどで固定するとともに、道路面との段差を少なくするため、すりつけをする。

⑥ 出入口部分には、黄色回転灯を設置する。

⑦ その他

乗入れ先の土地(工事用資材置場など)が借地の場合は、土地所有者の承諾書又は借地契約書の写しを提出すること。

工事用の車両を工事敷地内へ乗入れる場合は、歩道などの補強又は防護措置が必要です。

(4) そ の 他

オーバーブリッジ・ロングリフト(エレベーター)・乗入れ構台(栈橋)

オーバーブリッジ等の設置については、原則認めません。

工事敷地内に設置できる余地が全くなく、また、借地もできない場合に限り、道路河川課と協議してください。

3. 添付図書一覧表

申請書には、次の図書を添付してください。

下記図書のほか位置図・現況写真・交通対策図は必須書類です。

○ 添付必要 △ 必要に応じて添付必要

添付図書 区 分		工事仕様書	付近見取図	全体平面図	立面図 側面図	構造図	求積図	理由書	前回の 許可書 の写し	前回の 工事仕 様書の写し	掘削図	土留計算書	残運搬 経路土図	備 考
新規申請	仮 囲 足 場	○	○	○	○		○							ロングリフト（エレベーター）を設ける場合は、脚柱基礎詳細図も添付
	保 護 棚	○	○	○	○		○							
	乗 入 れ	○	○	○		○	○							
変 更 申 請 ※1			○ 注 1	△ 注 2	△ 注 2	△ 注 2	○	○	○	○ 注 3				注 1) 着色などにより変更の前後が対照できるようにする 注 2) 変更がある物件について、新規申請の例により必要図書を添付 注 3) 変更事項を訂正又は追記する
掘 削 工 事 を 伴 う 場 合 ※2		●									○	△ 注 4	△ 注 5	●仕様書該当欄に必要事項を記入 注 4) 原則として掘削深2メートル以上の場合に添付 注 5) 工事敷地外に搬出する土砂が500 立方メートル以上の場合に添付

※1 占用期間の延長、占用物件の数量増加時のみ必要となります。

※2 $\frac{\text{掘削底面から道路面までの高さ}}{\text{道路境界から掘削位置の距離}} = 2.0$ 以上の場合に必要です。

※3 乗入れを設置する場合等には「地下埋設物調査票」が、街路樹の移植が必要な場合には「移植街路樹明細書」が必要となります。（ともに様式自由）

4. 申請図書作成要領

道路一時占用許可申請（協議）書

令和 年 月 日

みよし市道路管理者 殿

申請者

住 所

氏 名

①

担当者

電 話

下記のとおり道路法第32（35）条の規定により許可申請（協議）します。

記

市道

線

1. 占 用 場 所 : ② みよし市 地先

2. 占 用 目 的 : ③

3. 物件名及び数量 : ④

4. 占 用 期 間 : ⑤ 令和 年 月 日 から
令和 年 月 日 まで 日間

5. 添 付 書 類 : ⑥ 位置図、平面図、断面図、構造図、交通規制図、現場状況写真、
その他関係図書（ ）

み令道道占第 号

令和 年 月 日

上記については、別紙条件により許可（回答）する。

みよし市道路管理者

みよし市長 小 山 祐

（備考）本様式は、2部提出すること。

記入にあたっては、次の点に留意してください。

① 申請者

- ・「氏名」は、法人の場合、その名称及び代表者の氏名を記載してください。
- ・「担当者」は、申請事項に関し事務連絡のできる方の氏名を記載してください。

② 占用の場所

- ・「市道名」は、道路河川課に備付けの「みよし市道路網図」で確認のうえ記入してください。

③ 占用の目的

- ・建設工事などの内容がわかるように具体的に記載してください。

④ 物件名及び数量

- ・仮囲・保護棚・乗入れなどの占用物件のうち、該当するものを記入してください。
- ・乗入れ、保護棚などが仮囲の占用区域と重複する場合は、数量欄に、次のように記入してください。

数 量 : 10.0 m² (うち仮囲内 5.0 m²)

↑ 占用面積 (小数点 2 位以下切捨て)
↑ 占用面積のうち仮囲の占用区域と重複する面積

- ・乗入れは、設置箇所ごとに占用面積を記入してください。

⑤ 占用期間

- ・占用期間の始期は、工事着手予定日を記入してください。
許可後直ちに工事着手する場合は、空欄にしてお持ちください。
- ※ 占用物件ごとに占用期間を分けて申請する場合又は占用物件が多く該当箇所に記入できない場合は、下記により占用物件数量表を別に作成してください。

⑥ 添付書類

- ・添付図書一覧表(前頁)を参考に必要書類を作成し、添付してください。

□申 請 (別 紙)

占 用 物 件 数 量 表

工事用施設	数量(m ²)	工事用施設数量占用の期間
仮囲	50.0	～
乗入れ	15.0	～
乗入れ(下段、仮囲内)	10.0 (5.0)	～
足場	35.0	～
足場(仮囲内)	20.0	工事用施設それぞれの占用期間を 記載してください
保護棚	30.0	～
		～
		～
		～
		～

※用紙は日本工業規格 A 4 とする。

4. 更新・変更申請作成要領

変更申請の場合に記載 ⇒

変更

み道道占第

号

道路一時占用許可申請（協議）書

令和 年 月 日

みよし市道路管理者 殿

申請者

住 所

氏 名

担当者

電 話

下記のとおり道路法第32（35）条の規定により許可申請（協議）します。

記

市道

線

1. 占 用 場 所： みよし市 地先

2. 占 用 目 的： _____

3. 物件名及び数量： _____

4. 占 用 期 間： (令和3年 4月10日)
令和3年 4月20日 から
(令和3年 5月10日) (30)
令和3年 5月30日 まで 40 日間

5. 理 由： _____

5. 添 付 書 類： 位置図、平面図、断面図、構造図、交通規制図、現場状況写真、
その他関係図書（ 前回の許可書の写し ）

み道道占第 号

令和 年 月 日

上記については、別紙条件により許可（回答）する。

みよし市道路管理者

みよし市長 小 山 祐

（備考）本様式は、2部提出すること。

記入にあたっては、次の点に留意してください。

- ① 申請書右肩に「変更」と朱書きし、変更申請であることを明確にください。
- ・ 前回許可の番号及び年月日を記入してください。
 - ・ 前回許可書の写しを添付してください。
- 変更が期間の延長、数量増の場合は、すべて写しを添付してください。
- ② 占用の目的
- ・ 前回と同じ目的を記入してください。
 - ・ 今回の変更事項を（ ）書きで簡潔に記入してください。
- ③ 物件名及び数量
- ・ 占用物件が少なく、該当箇所に記入できる場合は、次のように記入してください。
 (10.0 m²) ← 変更前の数量を（ ）書きで記入
 30.0 m² ← 変更後の数量を朱書きで記入
 - ・ 占用物件が多く、規模・数量欄及び占用の期間欄に記入できない場合は、「別紙のとおり」と記入し、下記の要領で占用物件数量表を作成してください。
- ④ 占用の期間
- ・ 上段に変更前を（ ）書きにし、下段に変更後を朱書きで記入してください。
- ⑤ 理由
- ・ 変更となった理由を端的に記入してください。

□変 更 申 請

占 用 物 件 数 量 表

工事用施設	変更前 (m ²)	変更後 (m ²)	工事用施設数量占用の期間
仮囲	50.0	60.0	令和 3. 4. 1 ～ (令和 3. 11. 1) 3. 12. 1
乗入れ	15.0	変更する工事用施設 占用面積を朱書きで 記載する。	～
乗入れ (下段、仮囲内)	10.0 (5.0)		～
足場	35.0		～
足場(仮囲内)	20.0		工事用施設それぞれの 当初占用期間を上段に()書きし、 変更期間を下段に <u>朱書き</u> で記載してく ださい。
保護棚	30.0		

※用紙は日本工業規格 A 4 とする。

※その他の欄については新規申請と同様に記入してください。

添付図書

①工事仕様書

工事仕様書（工事用施設）							
工 事 概 要		建物等の名称 (地上 階、地下 階)					
		新築・改築・補修・塗装・その他()工事					
現 場 責 任 者		所属・氏名 TEL					
仮 囲 ・ 足 場		出幅(m)	有効幅員(m)	歩道幅員(m)	車道幅員(m)	交通規制	
	東 側						
	西 側						
	南 側						
	北 側						
	仮 囲 高	路面から	m	足 場 高	路面から	m	
保 護 柵	出 幅	足場から	m	段 数	段		
	1 段目取り付け位置 路面から m						
乗 入	☐ 歩道補強 () ☐ 側溝補強 ☐ 鉄 板 敷 厚 mm(敷地内固定方法 アンカーボルト・溶接・その他()) ☐ セメントコンクリート打換え 厚 mm ☐ 既設乗入れをそのまま使用						
	乗 入 幅	m		箇 所 数	箇所		
	掘 削	掘削深さ	路 面 か ら 最 大 m 最 小 m				
		掘削位置	道路境界から m				
		発生土砂	発生土砂量 m ³ (うち、敷地外搬出 m ³)				
土留の有無							
☐ 親 杭 横矢板		親 杭	形状・寸法				
			杭 長	m		杭 間	m
		横 矢 板	厚 さ mm				
切 梁	有 ・ 無		段				
☐ 鋼矢板 ☐ 地中連続壁 ☐ その他()							
備 考							

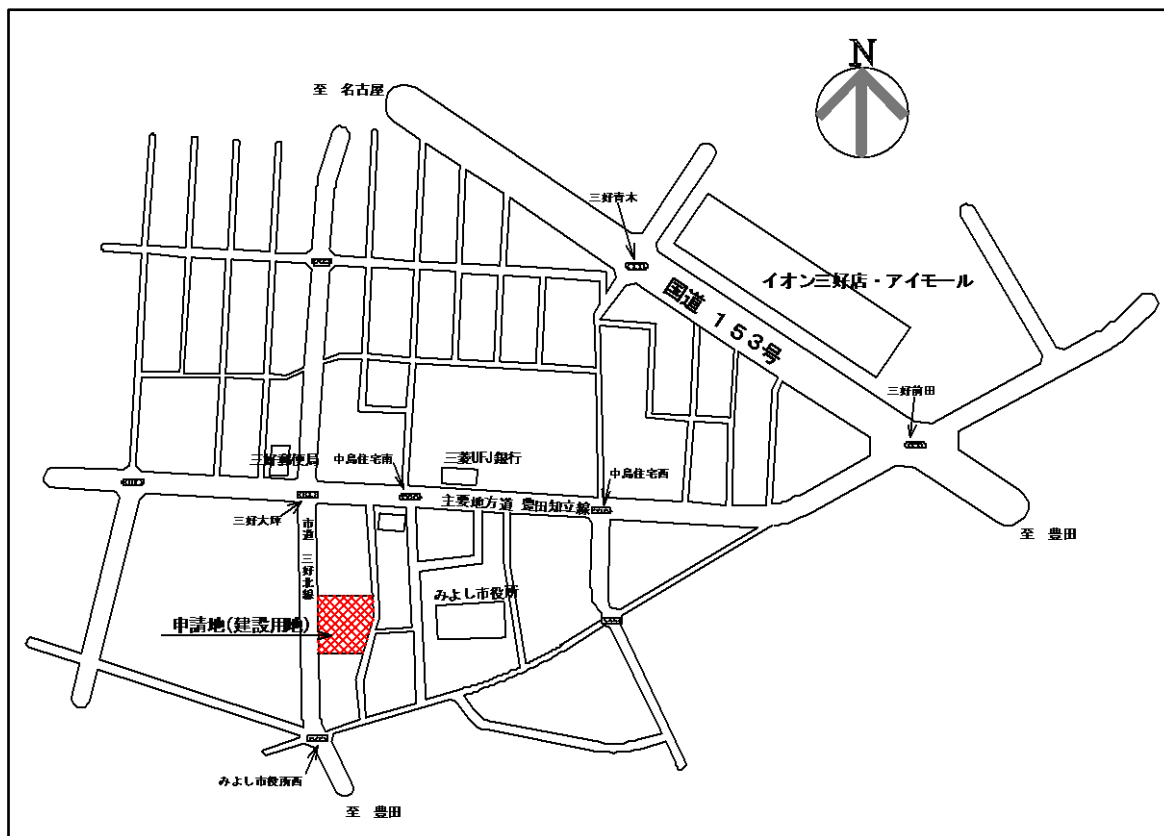
注) 有効幅員欄には、仮囲等設置後、歩行者又は車両が実際に通行できる幅員を記載してください。

注) 備考欄には、その他道路河川課との協議事項など必要事項を記載してください

②付近見取図

都市計画図等を利用し、A4 以上で作成のこと。

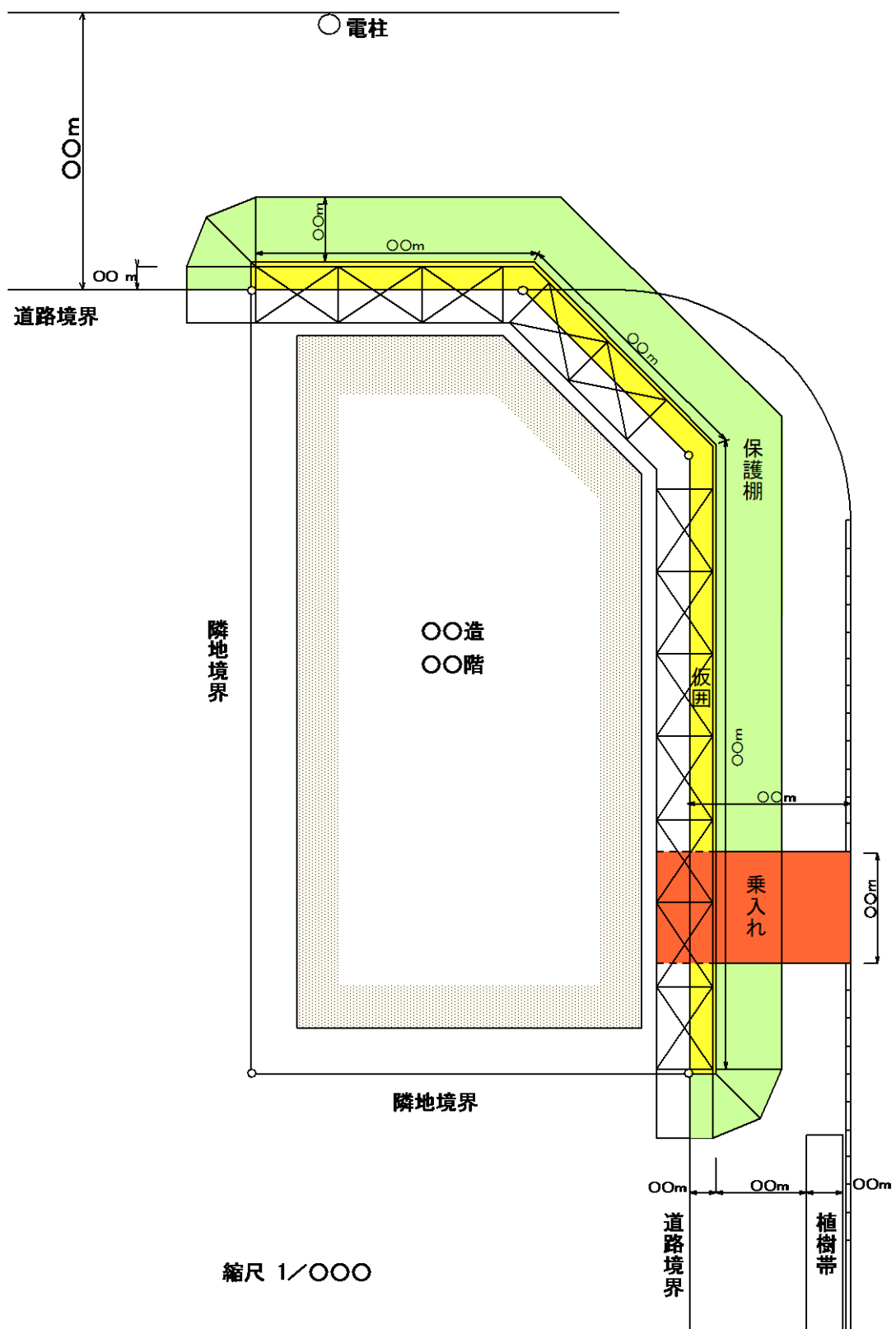
主な明示事項	留意事項
・申請地	工事敷地を明示
・方位	
・目標となる施設	学校・公園等の施設 など



③全体平面図

占用物件の配置、道路の現況などを示した図面で、A4 以上で作成のこと。

主な明示事項		留意事項
共通事項	・ 申請物件	申請物件ごとに薄く着色(色分け)
	・ 縮尺	
	・ 方位	
	・ 道路境界線	赤色で明示
	・ 道路幅員	車道・歩道別に記入
	・ 隣地境界線	
	・ 道路施設	街路樹、道路標識、道路照明(防犯灯含む)、防護柵、横断歩道などを記入
	・ 既設乗入れ	
	・ 他の占用物件	・ 電柱、消火栓などを記入
仮囲い・足場	・ 出幅	2 m以内で必要最小限
	・ 有効幅員	
	・ 延長	
	・ 出入り口	
	・ 足場の配置	
保護柵	・ 出幅	
	・ 延長	
乗入れ	・ 幅員	6 m以内で最小限
	・ 延長	



④立面図・側面図

占用物件の設置状況を正面から示した図面で、A4 以上で作成のこと。

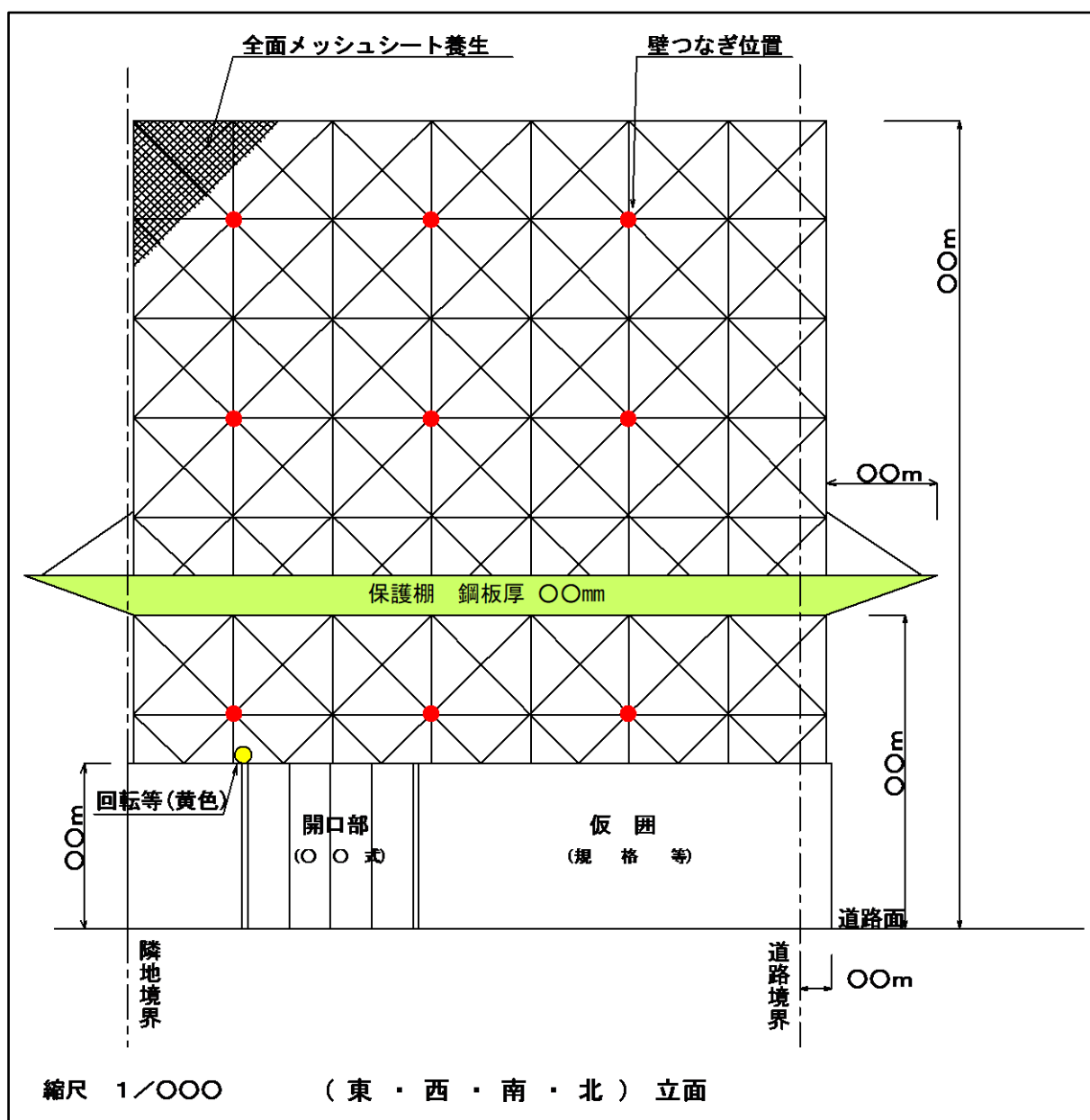
主な明示事項		留意事項
共通事項	・縮尺	
	・立面の方向	
	・道路境界線	赤色で明示
	・隣地境界線	
仮囲い・足場	・高さ	3 階建て以上は原則 3 m
	・壁つなぎの位置	赤色で明示
	・出入口の閉鎖方法	
	・材質	
保護柵	・道路面からの高さ	歩道上 3 m 以上 車道上 5 m 以上
	・出幅	2 m 以上
	・材質	

側面図

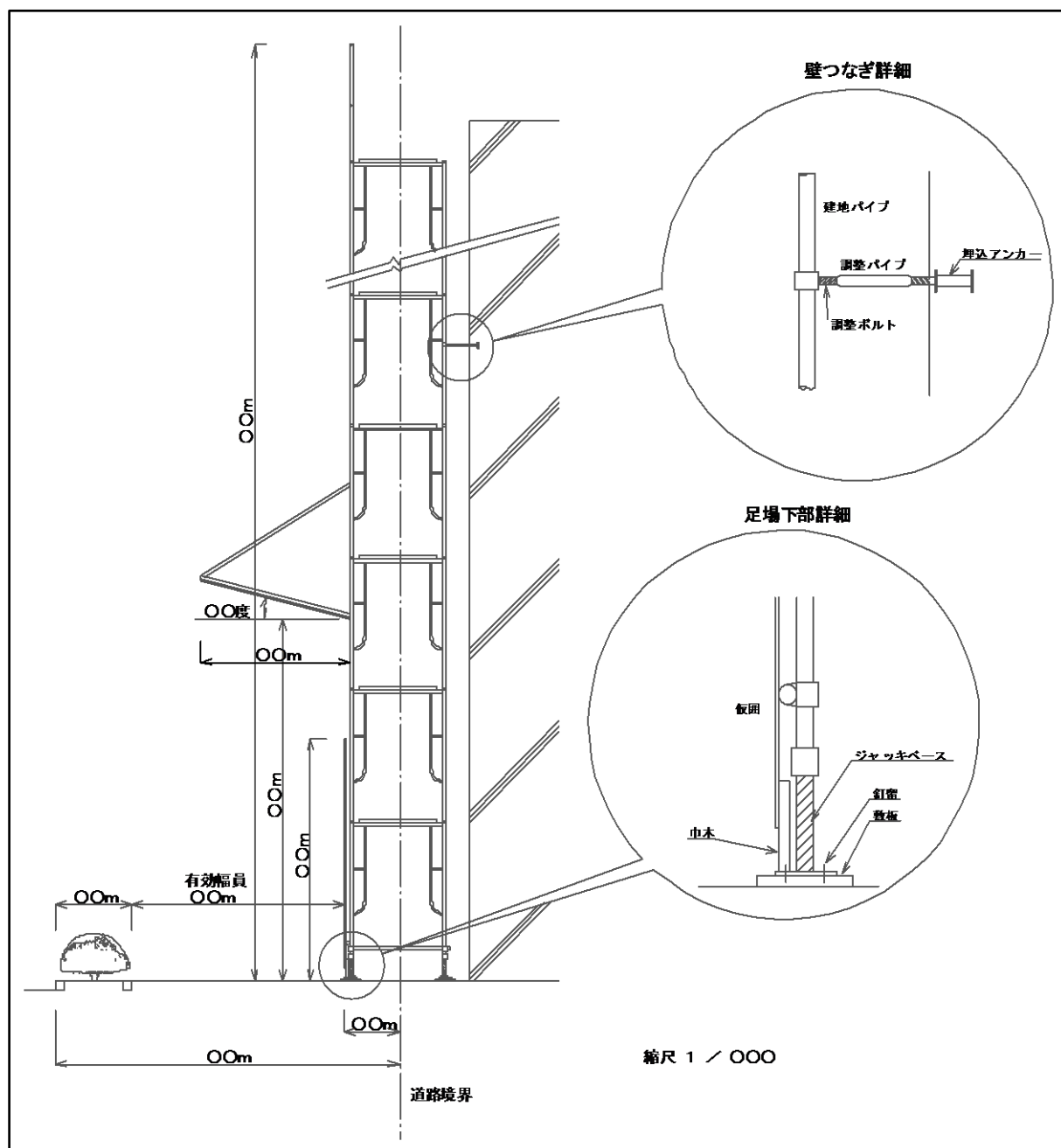
占用物件の設置状況を側面から示した図面で、A4 以上で作成のこと。

主な明示事項		留意事項
共通事項	・縮尺	
	・道路境界線	赤色で明示
	・道路幅員	
	・道路施設	街路樹、道路標識、道路照明(防犯灯含む)などを記入
	・他の占用物件	電柱などを記入
仮囲い・足場	・出幅	2 m 以内で必要最小限
	・有効幅員	
	・高さ	3 階建て以上は原則 3 m
	・足場下部の詳細	拡大図の併記可
	・壁つなぎの詳細	拡大図の併記可
保護柵	・道路面からの高さ	歩道上 3 m 以上 車道上 5 m 以上
	・出幅	2 m 以上
	・取付け角度	

【立面図】



【側面図】



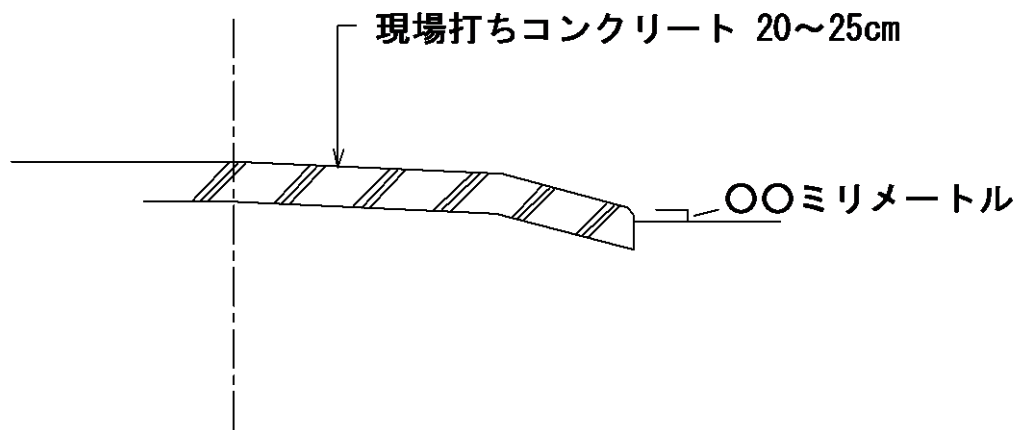
⑤構造図(平面・断面)

乗り入れ又はオーバブリッジの場合に必要な図面で、A4 以上で作成のこと。

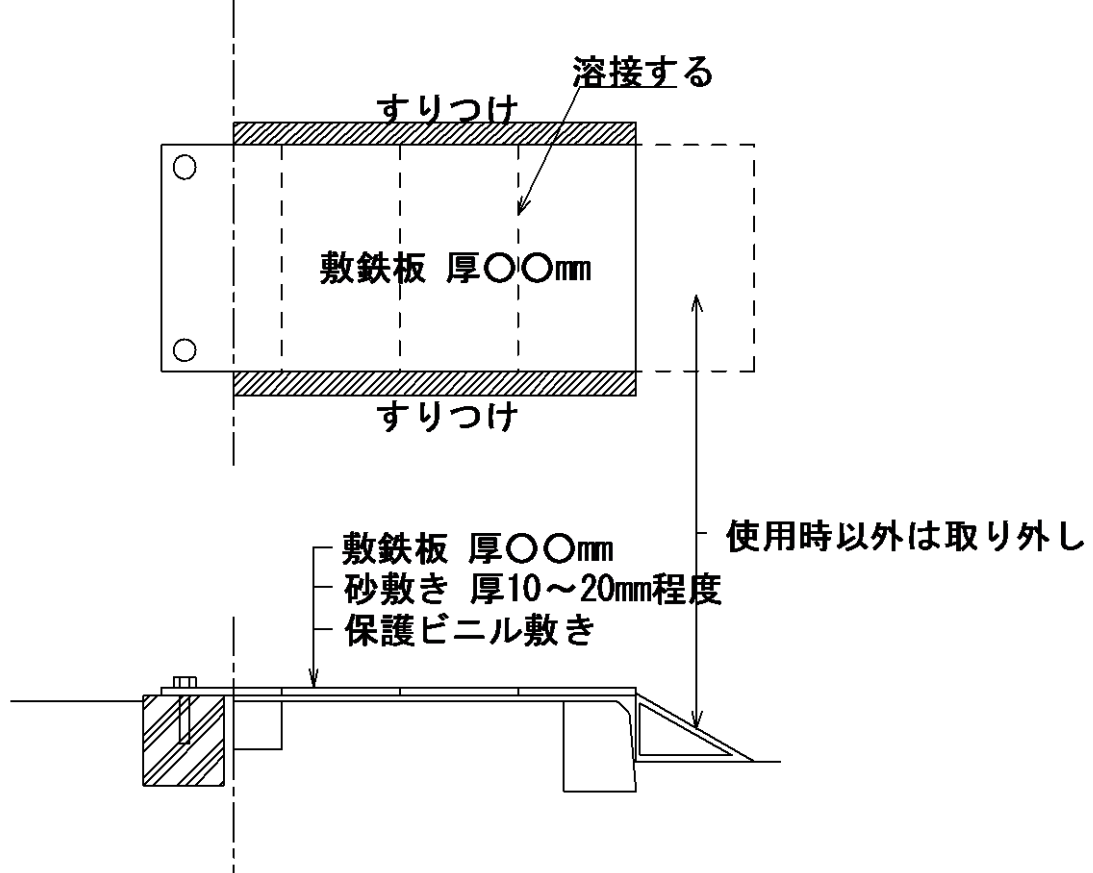
主な明示事項		留意事項
共通事項	・縮尺	
	・道路境界線	赤色で明示
	・道路幅員	
乗入れ	・幅員	6 mを超える場合は車両回転軌跡図が必要
	・延長	
	・鉄板の規格	
	・鉄板の固定方法	
	・すりつけ	
	・コンクリート厚	

歩道補強

○占用期間が6ヶ月以上の場合

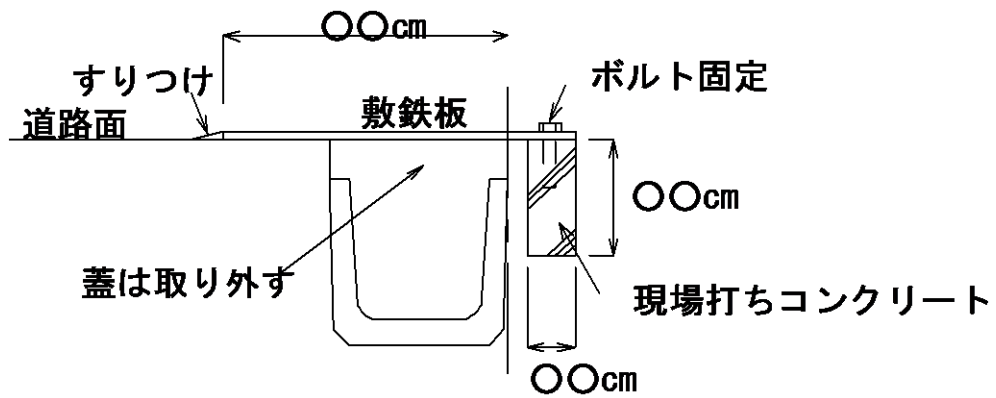
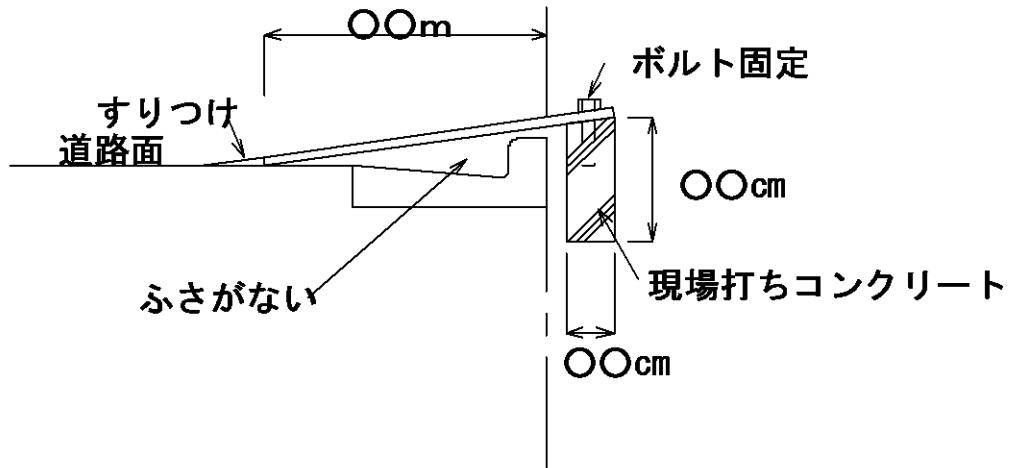


○占用期間が6ヶ月未満の場合

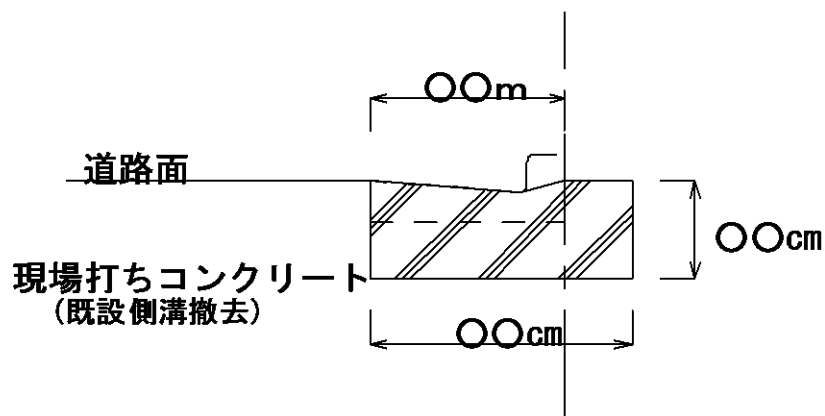


縮尺 1/〇〇〇

側溝補強



※既設側溝が PU3 型側溝の場合は、甲蓋の取り外しは不要です。

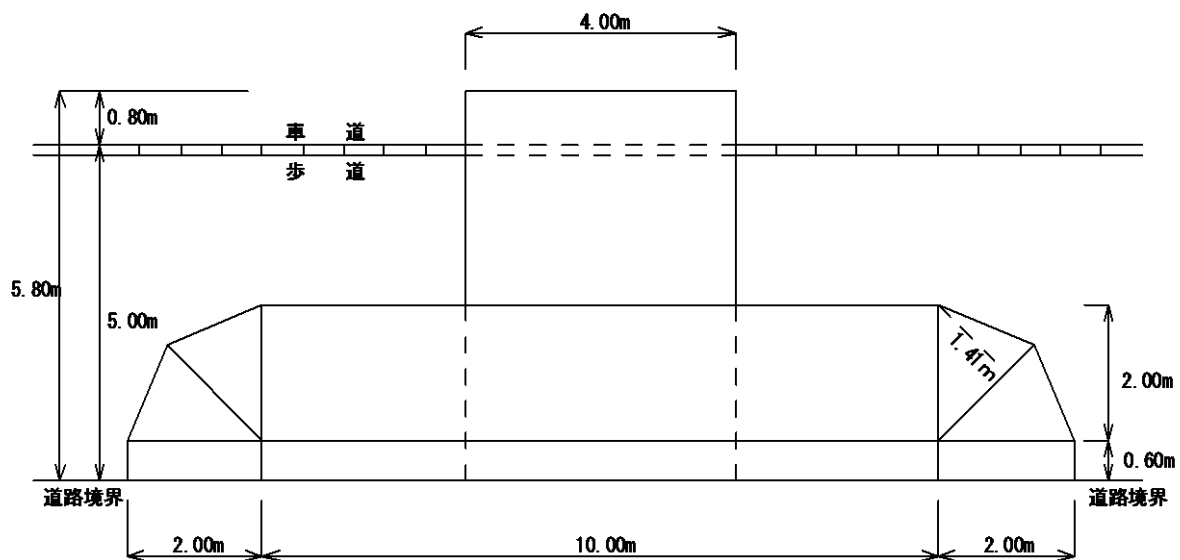


縮尺 1/〇〇〇

⑥求積図

全体平面図と兼ねることができます。

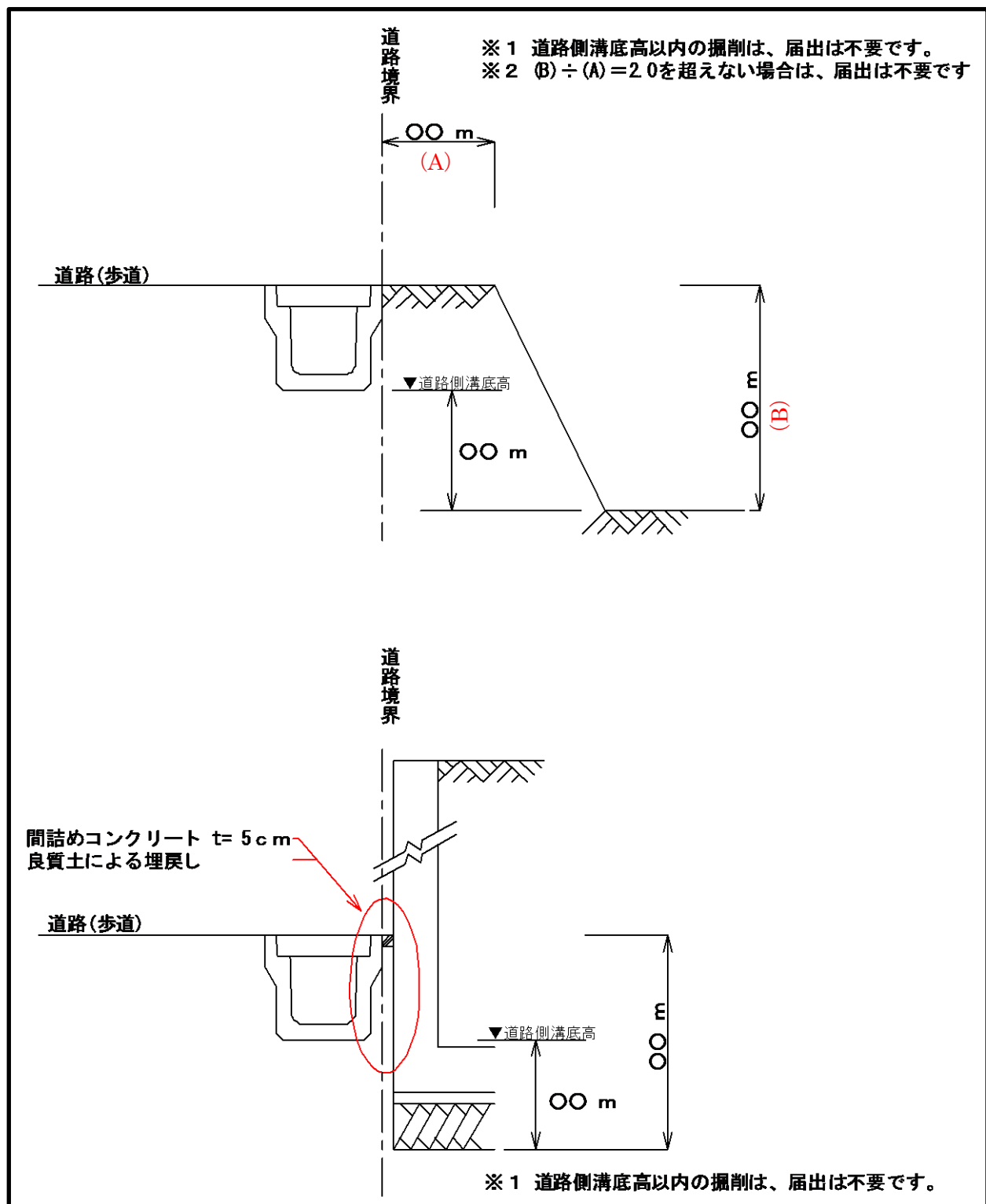
主な明示事項	留意事項
・ 計算の基礎となる数値 ・ 計算式	少数第 2 位まで表示



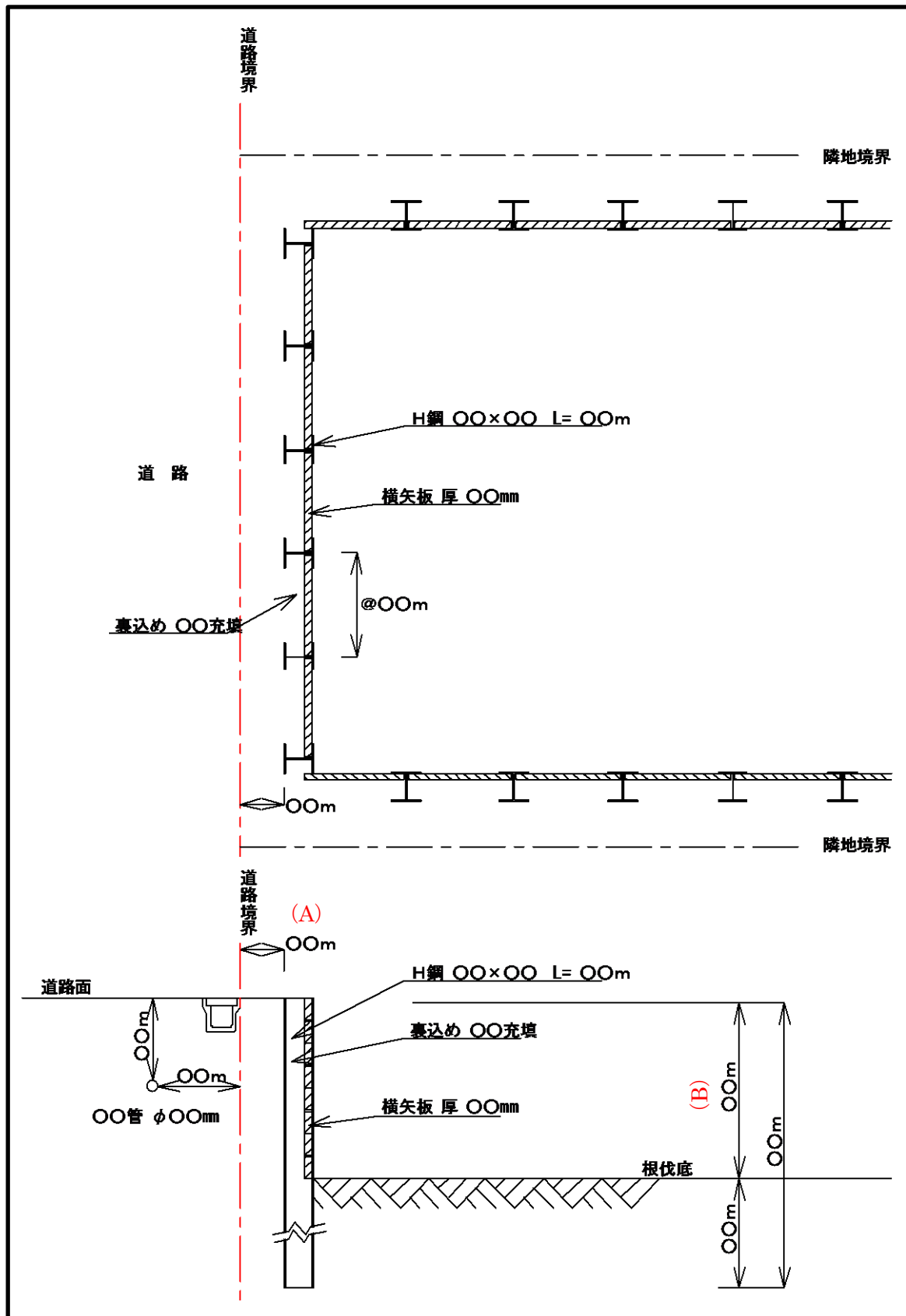
工事用施設	計算式	面積
仮囲	$10.00 \times 0.60 =$	6.0 m^2
防護柵	$10.00 \times 2.00 + 0.60 \times 2.00 \times 2 + 2.00 \times 1.41 \div 2 \times 4 =$	28.0 m^2
乗入(全体)	$4.00 \times 5.80 =$	23.2 m^2
(仮設外)	$4.00 \times (5.80 - 0.60) =$	20.8 m^2

※計算後の数量は、小数第 2 位以下を切り捨て、少数第 1 位まで表示する。

⑦ 掘削図-1



⑥ 掘削図-2



5. 許可後の手続

占用料の納入

- ・ 許可書とともに交付される道路占用料納入通知書により、必ず納期限までに納入してください。

占用許可の表示

- ・ 道路占用許可標識を作成し、占用期間中、仮囲など見やすい場所に掲出してください。

工事着手届の提出

- ・ 工事に着手する前に、工事着手届に必要事項を記入のうえ、道路河川課に提出してください。
 - ※ 届出用紙は、許可書とともに交付
 - ※ 工事着手前の現況写真を必ず添付すること。

工事完了届の提出

- ・ 工事が完了したときは、速やかに占用物件を除却し、道路を現状に回復してください。
- ・ 工事完了届に必要事項を記入のうえ、道路河川課に提出してください。
 - ※ 届出用紙は、許可書とともに交付
 - ※ 占用物件の撤去前、撤去後及び施工状況の写真を必ず添付すること。

〔工事中の注意〕

工事中は、住民への危害及び迷惑を防止するとともに、道路の構造を保全し、交通の安全と円滑に十分注意してください。

- 1) 工事の概要を付近住民に周知し、その理解を得ること。
- 2) 占用物件を常時良好な状態に保つように維持管理すること。
- 3) 工事用車両の出入口には、黄色回転灯を設置するとともに、車両の出入りの際は、監視員を配置し、歩行者等の安全を確保すること。
- 4) 工事現場付近の道路清掃の実施、道路側溝の通水の確保その他道路の機能保持に努めること。

① 道路占用（一時）許可標識

道路占用(一時)許可標識				
占 用 者	住所 みよし市三好町小坂50			
	氏名 みよし市建設(株) 代表取締役 ○ ○ ○ ○			
許 可 番 号	平成〇〇年〇〇月〇〇日付 み道道占第〇〇号			
占 用 物 件	名 称	工 事 用 施 設		
	規 模	仮 囲	乗入れ	足 場
	数 量	〇〇.〇㎡	〇〇.〇㎡	〇〇.〇㎡
占 用 の 期 間	平成〇〇年〇〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日			
現 場 責 任 者	みよし市建設(株) 建設課 三好 太郎 TEL 0561-32-2111			

35センチメートル以上

45センチメートル以上

② 工事着手届

工事着手届

令和 年 月 日

みよし市道路管理者
みよし市長 殿

住 所
氏 名
担当者
電 話

下記のとおり、着手します。

記

1	許可、承認又は回答の年月日及び番号	令和 年 月 日	み令道道占第 号
2	占有の場所	みよし市	地先
		市道	線
3	占有物件		
4	着手年月日	令和 年 月 日	
5	工事の施工者名	氏名（名称） 電話	現場責任者

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A 4 とする。
2. 完了届の場合は、工事写真を添付すること。
なお、写真には、着手前・完了後及び施工中の物件の構造・寸法及び施工段階ごとの写真を添付のこと。

工事完了届

令和 年 月 日

みよし市道路管理者
みよし市長 殿

住 所
氏 名
担当者
電 話

下記のとおり、完了しました。

記

1	許可、承認又は 回答の年月日 及 び 番 号	令和 年 月 日 み令道道占第 号
2	占 用 の 場 所	みよし市 地先
		市道 線
3	占 用 物 件	
4	着 手 年 月 日	令和 年 月 日
5	工事の施工者名	氏名（名称） 現場責任者 電話

- 26 -